

京都大学人文科学研究所共同研究実績・活動報告書

(5 年計画の 1 年度目)

1. 研究課題

(和文) 漢簡語彙辞典の出版

(英文) Publication of the dictionary on Han Wooden slips

2. 研究代表者

(氏名) 富谷 至

3. 研究期間

平成 22 年 4 月 から 平成 27 年 3 月 まで

4. 研究目的 (400字程度)

本研究班の目的、および達成すべき成果は、『漢簡語彙辞典』を編纂し、出版することである。出版社(岩波書店)はすでに決定しており、2013年度内に出すことになっている。

辞書の内容は、居延漢簡、敦煌漢簡の語彙を網羅し、意味、文献史料の用例、簡牘資料の用例をあげる。簡牘、とくに居延漢簡、敦煌漢簡の研究において、第一線で活躍する研究者が集まり、人文研の伝統的な会読の方法をもってすすめた成果として、この漢簡辞典は、斯界に計り知れない貢献をすること間違いない。

5. 本年度の研究実施状況 (400字程度)

毎回研究班をおこない、収録語彙は3800項目に達した。また研究班開催日の午後12時45分から2時まで、班員の有志からなるワーキンググループで項目の整理、追加などをすすめた。

6. 研究成果の概要 (400字程度)

『漢簡語彙辞典』と『漢簡語彙考証』二冊を研究成果として出版する。

7. 共同研究会に関連した公表実績 (出版、公開シンポジウム、学会分科会、電子媒体など)

辞書出版が第一の目的であるがために、シンポジウム等は行わない。